

# 農繁期 レポート

令和5年 6月号

## 栄ファーム

オーナー 栄運輸工業株式会社  
産地 鳥取県日野郡日南町  
水田面積 18.4アール  
保証量 玄米828kg  
形態品種 特別栽培コシヒカリ



### 生産者 三上 惇二さん

今月は除草剤散布を行いました。ドローン散布は短時間で多くの面積を作業でき体の負担が少なくとても便利です。  
草刈りもラジコン機を使い効率化に努めています。  
気温も上がり稲の株は徐々に大きくなってきました、月末から中干しをはじめていきます。

#### 6月の作業内容

##### 1. 除草剤散布

水稻栽培において、初期除草に成功するか否かは重要な点です。失敗すると、後々の管理が大変になるので、ここがプロの腕の見せ所となります。除草剤散布にもドローンを使うケースも増えています。

##### 2. 草刈り

水田の周辺の草刈りはもちろん、周辺の畔や法面（のりめん）の草管理も良質なお米づくりには欠かせません。すべての雑草が敵という訳ではありませんが、この作業により結果的に害虫の減少にも貢献します。

##### 3. 水の管理

除草剤散布後から、稲株が順調に分けつするまでの間、水管理は極めて重要です。水漏れのひどい場合や、水管理を誤った場合には雑草の生育が旺盛になり、稲の養分を奪うケースもあります。

##### 4. 中干し

中干し（なかばし）をする理由は主に2つあります。1つ目は根に空気を与えて根腐れを防止すること、2つ目は根元を強くして倒伏を防止すること。田の表面が軽くひび割れるまで行いますが、その程度は田に合わせます。



ドローンの活用



ラジコン草刈り機



深水や浅水管理で調整



梅雨の終わり頃の風物詩